

# 地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 IMA 小委員会

(第 26 期・第 3 回)

## 議 事 要 旨

1. 日 時：令和 6 年 12 月 19 日（木）17：00～17：50
2. 会 場：オンライン会議（Zoom）
3. 出席者：大谷栄治・土屋旬・西山忠男・阿依アヒマディ・井上徹・宇都宮聡・  
大藤弘明・鍵裕之・興野純・小西博巳・辻森樹・富岡尚敬・  
永寫真理子・坂野靖行・福士圭介・森下知晃・門馬綱一  
(名簿順、敬称略)

### 4. 議事概要

- (1) 第二回 100 Geological Heritage Sites の結果と第三回申請の準備について  
(Heritage Stones, Geo-collection について)

第二回の結果として、前回の選定地である玄武洞や野島断層に続いて日本から喜界島サンゴ礁段丘と平成新山が選定されたことを報告した。次回の募集は 2025 年春に予定されていることから、大藤弘明氏を中心として年明けから申請の準備を始めることとした。また、Heritage Stones や Geo-collection に関する応募も検討することを確認した。これまで日本から毎年 2 件選定されているが、幅広い候補地等を発掘し 100 Geological Heritage Sites 等への申請および認定件数を増やし、日本の重要な地質遺産や鉱物をアピールするしても良いのではないかとの意見が挙げられた。

- (2) IMA2026 南京セッション提案について

IMA2026 南京総会に向けた準備状況について確認した。会議では、第 2 副会長である Prof. Xiancai Lu からの、セッション提案や要旨提出のスケジュールについての情報が共有された。セッション提案の受付は 2025 年 4 月 1 日に開始され、締め切りは同年 8 月 30 日である。要旨提出は 2025 年 10 月 15 日から 2026 年 3 月 1 日まで受け付けられる予定で、会議の開幕は 2026 年 8 月 20 日に予定されている。

さらに、IMA2026 南京総会の公式ウェブサイトがすでに公開されており、その情

報も共有された。ウェブサイトには要旨提出の詳細スケジュールが掲載されており、随時更新される予定である。また、IMA 小委員会委員にも積極的にセッション提案を検討するよう呼びかけた。また 2030 年の IMA 総会候補地の情報についても情報共有が行われた。

(3) IMA 日本副代表の選出について

IMA と各国の連携体制を強化するために、IMA 会長より IMA 副代表の選定依頼があった。永嶋真理子氏が IMA 日本副代表を引き受けることを了承した。この件について、日本代表である土屋旬氏が IMA に対して連絡を行うこととした。

(4) IMA ビジネス会合（ダブリン）報告

土屋旬氏、大谷氏、大藤氏の 3 名がアイルランド・ダブリンで開催された IMA ビジネス会合に参加した。会合では、以下の役員の投票が行われた：

- **1st Vice President:** Nancy Ross (USA, 新任)
- **Secretary:** Hiroaki Ohfuji (Japan, 新任)
- **Treasurer:** Travis Olds (USA, 再選)
- **Councilors:** Ross Angel (Italy, 再選), Vincent van Hinsberg (Canada, 新任), Encarnacion Ruiz Agudo (Spain, 新任)

投票結果、全員が信任された。これにより、IMA Council のメンバーと任期は以下の通りとなった：

- **President:** Eiji Ohtani (Japan) 2026
- **Past President:** Hans-Peter Schertl (Germany) 2026
- **1st Vice President:** Nancy Ross (USA) 2026
- **2nd Vice President:** Xiancai Lu (China) 2026
- **Secretary:** Hiroaki Ohfuji (Japan) 2028
- **Treasurer:** Travis Olds (USA) 2028
- **Communication Officer:** Michele Zema (Italy) 2026
- **Councilors:**
  - Ross Angel (Italy) 2028
  - Vincent van Hinsberg (Canada) 2028
  - Encarnacion Ruiz Agudo (Spain) 2028
  - Dshenthree Chetty (South Africa) 2026
  - Shaunna Morrison (USA) 2026

(5) 各コミッション・ワーキンググループ報告

土屋旬氏 (CPM) からは、10 月に行われたオンライン会合について報告があり、

CPM サブコミッションの再編成や次回 IMA 総会へのセッション提案の積極的申し込みについて話し合われたことが報告された。

坂野靖行氏 (CM) からは、6 月および 9 月のウェブ会議、および 8 月にウェールズで開催されたビジネス会合について報告があった。特に、この会合では M&M 会議の開催ガイドラインの制定が話し合われた。

阿依アヒマディ氏 (CGM) からは、コミッション委員の再認定と翡翠の定義に関する議論が行われたことが報告された。翡翠の定義については中華圏と日本で違いがあり、市場の混乱を招く恐れがあるため、正しい鉱物名の使用が必要であるとの説明があった。この問題については、次回アテネでのビジネス会合でも継続して話し合われる予定である。

福士圭介氏 (ナノ鉱物学 WG) からは、来年サルディニア島で開催される会議で関連セッションを立ち上げるため、投稿を呼びかける報告があった。

#### (6) 国際学術団体に係る調査票報告

日本学術会議が加入している国際学術団体に係る調査票について、委員の協力により無事提出を完了したことが土屋旬氏より報告された。

#### (7) その他

- Mineralogy and Museums Conference 2027 の日本招致について

Mineralogy and Museums Conference 2027 については、開催地提案募集の情報が共有されたが、日本からの招致の動きはないとの報告があった。通常の博物館業務が多忙であり、開催による具体的なメリットが示されない限り、招致は難しいとの意見が出された。

- 令和 7 年度代表派遣会議の募集について

令和 7 年度の国際会議代表派遣に関する情報は、すでにメールで回覧済みであるが、再度情報が共有された。各委員に対し、必要事項をまとめて IMA 小委員会委員長に 12 月 27 日までに提出するよう依頼があった。

以上